

北成病院季刊広報 ほくせい

医療法人社団 延山会
北成病院

広報編集委員会

〒001-0933

札幌市北区新川西3条2丁目10-1

増刊号 TEL 011-764-3021
FAX 011-764-4331

URL <http://hokusei-hp.or.jp/>

地域の皆様に愛される医療機関を目指し！



新たな
ステップへ



【目次】

| | |
|---------------------|------|
| 新院長のご挨拶 ----- | 1、2頁 |
| 循環器技術交流 (FFR) ----- | 2頁 |
| 病院機能評価 Ver6 ----- | 3頁 |
| お知らせ ----- | 3頁 |

理 念

日々研鑽を積み、全人的対応をもって、良質な医療を提供し、組織一體となって地域社会に貢献することを目指します。

基本方針

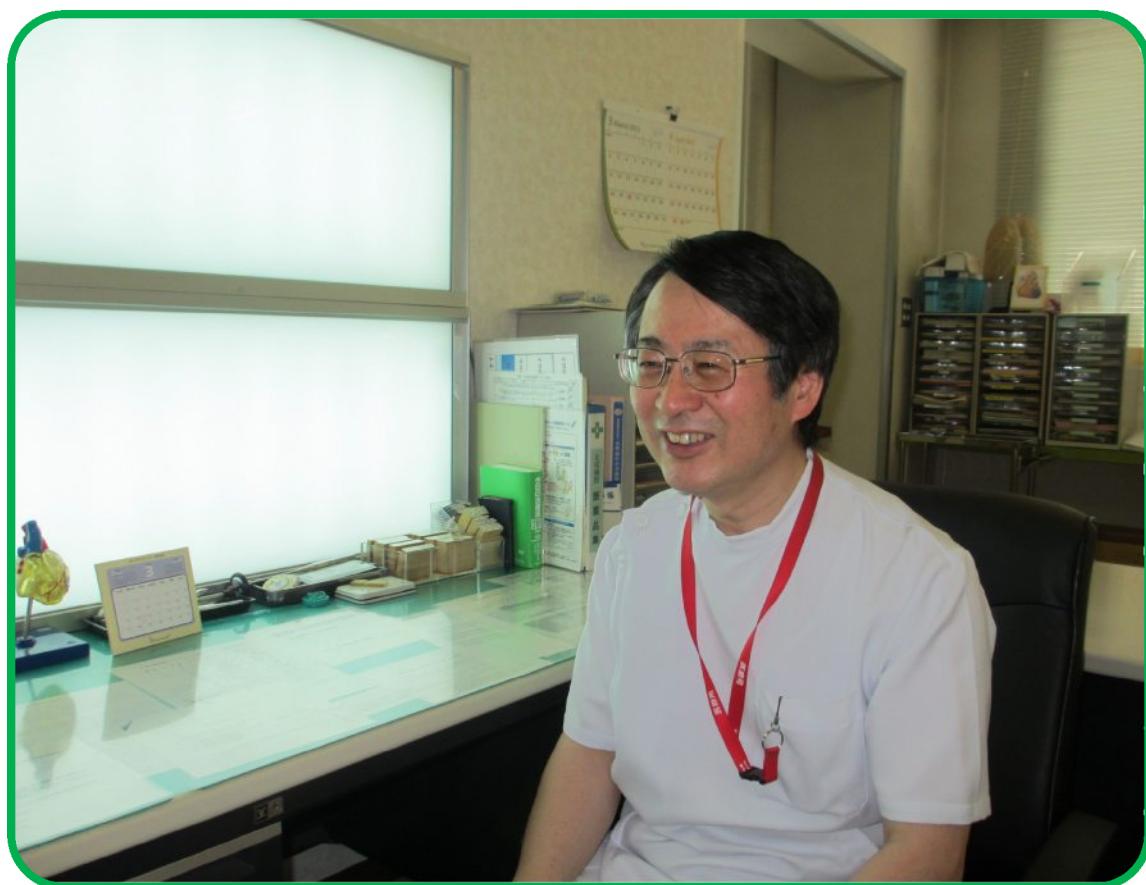
1. 私たちは、医療人としての自覚を常にもち、切磋琢磨してチーム医療を実践します。
2. 私たちは、急性期から慢性期まで、患者様の立場に立ち、真心こめた医療サービスを提供します。
3. 私たちは、患者様の権利と安全を重視し、地域の皆様から信頼される病院づくりを目指します。
4. 私たちは、経営の健全性を高め、安定した病院経営を続けられるよう努力します。

地域医療に貢献する精神を受け継ぎさらなる発展へ

昭和 54 年に開院して以来、33 年間地域に根差した医療を目指してまいりました歴代の院長より、新たな世代へとたすきが引き継がれます。

平成 24 年 4 月より、4 代目の院長として棚沢哲（たなざわさとし）が新院長へと就任いたします。一般家庭から企業まで、生活習慣予防のニーズにも対応し北区の地域連携を担う病院へ、新たな体制でスタートを切ります。

医療法人社団延山会 北成病院 院長 棚沢 哲



30 有余年の地域医療

4月1日付をもって内山前院長が、名誉院長になられるに当たり小生が北成病院院長に就任する事になりました。

当院は1979年に開設され、初代岩本院長・2代目三宅院長・3代目内山院長と30有余年にわたりこの地区、地域医療に努めてまいりました。

初代岩本院長は、そのころ札幌市でまだ不十分だった循環器を中心とした救急医療への対応に情熱を燃やして病院を立ち上げ札幌を中心とした広範な地域の医療に貢献されました。その後札幌市の救急体制が整うに連れ、2代目三宅院長の時代に、救急のみではなく地域の方々への幅広い医療を目指し、療養・介護病棟・訪問診療・訪問介護が立ちあげられました。



3代目内山院長は、当院を病院機能評価 ver 4から ver 6と並行して受けさせクリアをせることで、院内のシステム作り（人や状況の変化にかかわらず、いつでも安定して高品質の医療を提供できるシステム）作りを進めると共に、糖尿病外来開設などより専門的な方向への発展も目指してきました（病院機能評価 ver 6への審査は昨年末に受け本年2月に今回も合格通知を受けました）。内山先生は今後名譽院長として、当院の外来・訪問診療など、病棟主治医以外の医療は今まで同様行っていただける予定（一部外来の曜日変更はあります）です。院長交代に伴う患者の皆さまへかける御迷惑はないものと思います。

院長といふ重大な役職を受け、今までの院長先生方のように、これまでの基盤の上に新しい物を築いていく事ができるのかは、これから試されていく事となります。

今後の病院の方向性、当地域で必要とされる医療内容の検討、医療の質の向上、スタッフの確保といった重要な問題は数多く、くれぐれも舵取りを間違わないよう、骨碎身する構えであります。が、何分未だ若輩の身。北成病院が本当に地域のため、に貢献し続ける病院であるためには、皆さまに忌憚のない意見を頂く事が何より大事と考えてます。

当院で改善していく事は多々あると思いつますが、微力ながら最善を尽くしていく所存ですので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

地域のために 貢献し続ける病院



↑新藤直久先生（中央）と病院スタッフ

循環器技術交流

当院では、日本の医療最前線の医師との技術交流を心がけ、昨年は6月に豊橋ハートセンター循環器部長 士金悦夫先生にお越しいただき、狭心症の高難易度の慢性完全閉塞病変へのテクニックを披露していただきました。

今年は2月6日に新座
志木中央総合病院のCC
U部長 新藤直久先生を
招き心臓カテーテル中に
FFR(心臓の血管「冠
動脈」内の圧や血流の変
化をセンサー付きのガイ
ドワイヤーで測定し、冠
動脈狭窄の程度を評価す
る方法)を用いての狭心
症の方の診断と治療を一
緒に行つていただきまし



ント留置や、逆に胸痛はあるのに狭心症でないと誤診される事があると言われ、病变が典型的でない場合の診断のため、当院でも最近FFRを導入しました。今回FFRの研究発表を良くされている新藤先生と一緒にカテーテル検査と治療を行ない、当院の循環器診療に非常に有益なアドバイスをいただき、今後当院でのFFRの位置づけも再確認され、大変有意義な数時間でした。



← 勉強会の様子



2011年10月病院機能評価 Ver6.0 の更新審査を受け
2012年2月3日に認定書交付

病院機能評価は、病院が組織的に医療を提供する為の基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。評価調査者（サーベイナー）が中立・公平な立場に立って、所定の評価項目に沿い病院の活動状況を評価します。

評価の結果明らかになつた課題に対し病院が改善に取り組むことで、医療向上を図ることが出来るということで受審し認定を受けました。今後も認定を受けた事に満足せず更なる改善を進める所存です。

病院機能評価 Ver 6 認定

4月1日より、外来診療
担当医の変更があります

【内山医師】

午前の外来担当の曜日が変更になりました。火曜日、木曜日、金曜日を担当します。

今まで、水曜日に受診された患者様はご注意ください。

【三浦医師】

午前の外来担当の曜日が増え、火曜日と水曜日を担当します。

※受付に『外来診療担当医表』をご用意しておりますのでご確認下さい。

(臨床検査技師) 岡陽子)



4月目前となり、永かつた北海道の冬の寒さもようやく穏やかになつて参りました。私のマイブームは野菜を食べる事です。野菜の値段が上がる中、家計を圧迫しながら申し訳なく食べていますが、これからお店に並ぶ春野菜が今から楽しみです。皆さんも季節の野菜召し上がってみて下さい。

(編集委員 鈴木忍)

北成病院概要

- 診療科目：内科・循環器科・呼吸器科・消化器科・放射線科
- 病床：一般病床 52床 (一般病棟入院基本料2 (10対1入院基本料))
療養病床 64床 (療養病棟入院基本料1)
- 介護病床 22床 (療養型介護療養施設サービス費Ⅰのⅱ)
- 日本医療機能評価機構認定

～患者様とご家族の権利～

1. 基本人権と人格を尊重される権利
2. 思いやりのある、良質な医療を公平に受ける権利
3. 適切な情報提供や十分な説明を受ける権利
4. 納得のもとに、検査や治療を受けるか、受けないかを決定する権利
5. プライバシーを保護される権利
6. 健康するために情報を求める権利
7. 他の医師に診断を受け、治療法についての意見 (セカンドオピニオン) を聞く権利

